

各構成機関の令和元年度の取組状況及び
令和2年度の取組等について

【広島市自主防災会連合会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成等を通じて、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちあるきや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網に固定電話に携帯電話を加えた情報伝達連絡網を作成 ○ 広島市防災情報メールの登録奨励などを通じた、災害時に必要な情報の伝達・共有 ○ 防災受信機の利用促進 ○ Webカメラ設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練時に防災情報メールによる訓練開始の伝達を行い、受信できているか確認した。 ・ 危険区域に居住する住民に対し、広島市の防災受信機の利用促進制度について普及した。 ・ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、住民へ周知し、設置を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する
行動する 学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認（避難経路上の危険箇所や迂回路の有無などを含む。） ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施 ○ 子供も楽しめる防災訓練・フェアを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちあるきや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。 ・ 市内各地で小学校区単位の連合組織がそれぞれ防災訓練や研修会などを実施した。 ・ 防災訓練実施時に子どもが楽しめる内容を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちあるきや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。 ・ 市内各地で小学校区単位の連合組織がそれぞれ防災訓練や研修会などを実施した。 ・ 防災訓練実施時に子どもが楽しめる内容を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知

【広島県消防協会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど） ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認 <p>（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織に依存する事も多く、単位クラブとして活動するのが難しい状態でもあり、活動に差が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災との連携は益々重要性を増しているので続けて、つながりを大切にしていきたい。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 声かけは、私達に出来る大切な避難誘導の手段と考えているので、きめ細かく、これからも心がけていきたい。

行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的な参加 ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施 ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単位クラブとして取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に密着した活動を継続して取り組む。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。10年を経過した住宅用警報器について注意を促していきたい。

【広島県社会福祉協議会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 ○ 災害時における福祉分野の相互支援体制等の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【広島大学】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 31 年度新入生に防災に関するチラシ及び教材 3 種類（総ぐるみ運動，地震・津波，風水害・土砂災害編）を配布 ○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に，災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web，ハザードマップ，県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また，電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について，学内電子示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 ○ 学内電子掲示板に外国人教職員のために，広島県が作成している 6 か国語の防災啓発冊子が掲載できる URL を掲示 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で，学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて，学内掲示板に掲示するとともに，学生・職員に対して周知を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内での防災訓練を継続して実施し，防災体制の確認，自衛消防隊の動きについてシミュレーションを行うとともに，非常用物品の取り扱いなどを周知 ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 ○ 学生・職員への安全衛生教育で，地震対策・防災情報等について周知 ○ 災害に備えた危機管理の一環として，構成員を対象に安否確認訓練を実施（年 2 回） 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設内設備の転倒防止対策の実施及び避難経路の確保の確認に引き続き取り組む。 ○ 非常持出品の保管状況を確認し，補充等を行う。 ○ 専門業者による防災管理点検を行い，改善が必要な箇所については是正 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む。 ○ 広島大学防災・減災研究センター関係～前年度に引き続き，相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発，災害に強いまちづくりの支援，研究成果の情報発信，人材育成等に取り組む。公開講座，連携自治体会議，研究報告会，センター設置 1 周年記念シンポジウムなどを予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体職員向け研修（担当者編） ・ 防災士フォローアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 広島大学防災・減災研究センター関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年 6 月 3 日に，広島県と県内 23 市町に加えて，山口県岩国市，和木町から危機管理部門の担当者等 40 人が集まる「令和元年度第 1 回防災・減災研究センター連携自治体会議」を開催。自治体の検証報告，本学の研究の進捗状況などを共有した。 ・ 東広島市消防局と広島大学防災・減災研究センターは，共同研究により防災体験・訓練用 VR(仮想現実)ソフト「避難行動 	<p>継続して取り組む。 （国際シンポジウム以外は継続）</p>

備える		<p>体験 VR『土砂災害』～平成 30 年 7 月西日本豪雨災害から学ぶ～」を開発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 月 5 日に、広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団の最終報告会を東千田キャンパスで開催した。 ・ 9 月 30 日、広島大学防災・減災研究センター 1 周年記念オープンディスカッション「『相乗型豪雨災害』住民・学者・行政が振り返る」を開催し、地域で活動する防災リーダーや行政関係者を中心に約 90 人の参加があった。 ・ 11 月 18 日、自治体危機管理担当者研修を開催。広島県および県内の 18 市町から 29 人の危機管理担当者が参加。 ・ 2 月 16 日、広島県警察本部交通部と交通対策に関する覚書を締結。災害時の交通マネジメント等について連携強化。 ・ 12 月 19 日、広島県危機管理監・広島大学防災・減災研究センター連携協力推進会議を開催。今後の連携について意見交換。 ・ 2 月 12 日、広島大学・国土交通省中国地方整備局との意見交換会を開催。今後の研究連携について意見交換。 ・ ワイヤレスの土石流センサーを用いた早期検知システムを開発し、2019 年 12 月から、熊野町において検証実験を開始。 	<p>継続して取り組む。 (国際シンポジウム以外は継続)</p>
-----	--	---	--------------------------------------

【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<p>○ 当協会の主催する会議や行事等の機会において、会員に対して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認等に係る取組を促進</p> <p>各学校における安全確保の取組や基準に関して情報交換や意見交換等を図りたい。</p>	<p>○ 法人代表者に対して、県の施策に関する周知徹底を図るとともに、理解及び協力を要請した。</p>	<p>○ 県の作成する「マイタイムライン」について、各学園（各校）が教職員、生徒、保護者等に周知徹底を図るような取組を行うとともに、その利用方法等も校長会等で検討していくこととしたい。</p>
備える	<p>○ 私立学校相互の災害時における助け合いのネットワークについて検討を行う。</p> <p>災害時の相互扶助のネットワークについて、その必要性について意見交換したい。</p>	<p>○ それぞれの置かれた環境が大きく異なるため、ネットワークの構築には困難な状況が続いているが、引き続き構築を検討することを確認した。</p>	<p>○ 校長会を通じて、助け合いのネットワークの構築に向けて協議するとともに、各校における現状を把握するとともに意見交換する場を設定することを検討したい。</p>

【広島県PTA連合会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	○ PTA 新聞等による災害対応の情報提供、PTA 各種会議などでの経験や知識の交流を行う。	○ 三役会・理事会において減災に関する各学校での状況や、今後の周知活動についての交流を行った。	【新規】 ○ 東日本大震災で多くの子供たちの犠牲を出した大川小学校の保護者が各地で防災の講演を行っている。その方を全小・中学校会長研修会にお呼びし、防災に対する対応やPTAとしての役割等を学習する。
察知する	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。	○ 左記の取組を実施した。	} 継続して取り組む。
行動する	○ 「てんでんこ」の精神のように、災害が起こったら、誰かからの指示待ちではなく、自分で判断して、自分の身だけは守る姿勢を子供に培う。	○ 自分で判断し、自分で行動する子どもの育成を目指しているが、なかなか難しく、現時点では家庭においていろいろな場合の身を守るマニュアル等を指導した。	
学ぶ	○ 学校とPTAが連携し、防災に関する研修会等を実施し、災害が起こった時に必要なことを親子で学ぶ。	○ 単位PTA連合会毎に学校と連携し、防災教室や実施した。	【新規】 ○ 防災関係に詳しい方を指導者や講師に招きながら、PTAとしての防災の取組を強化する。
備える	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。	○ 災害が起こる前に、災害に応じた対応や避難経路、連絡の取り方などを家庭で指導していくよう取り組んだ。	} 継続して取り組む。

【広島県商工会議所連合会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	○ 左記の取組を実施した。	○ 継続して取り組む。

【広島県商工会連合会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	○ 会員（34 商工会）に対し、「危機管理マニュアル」の策定を促す。 ○ 会員（34 商工会）に対し、現有する「危機管理マニュアル」及び、「有事の際の初期動作についての確認を促すマニュアル」の再点検を促し、有事の際の初期動作についての確認を促す。	○ 「危機管理マニュアル」に代えて、新たに「商工会BCPマニュアル」を作成し、会員である34商工会の事務局長に説明した。各会員においてはこのマニュアルをベースにBCP策定を行っている。	} 継続して取り組む。
察知する			

<p>行動する</p>			<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ [新規] 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県からの依頼があれば、商工会主催の祭り等でブース等を提供する予定 ○ 引き続き、商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会の開催を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会事務局長を対象に、災害対応等を学ぶ研修会を実施した。 	<p>） 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理マニュアル未策定商工会に対し策定の促進（平成 30 年の災害対応の検証等を踏まえ、危機管理マニュアルの内容を再検討するとともに、全商工会におけるマニュアル整備に取り組む。） ○ 災害時等における緊急連絡体制の構築（災害発生時に県内職員の安否や出勤可否確認等に苦慮したことから、社内 SNS によるコミュニケーションツールの構築に取り組む。） ○ 連絡網を作成し、管理職へ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における行動指針等を記載した「職員携行カード」を作成し、全職員に配布した。 ○ 全職員の安否確認や緊急連絡の手段として、業務用 SNS の運用を開始した。 ○ 管理職は職員連絡網を常備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務所内に水などの備蓄品を置く。

【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（13JA と連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知 ○ 「JA女性部会」研修会にて、県の実施する「女性のための防災プログラムトレーナー養成」事業の説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災に関する情報の収集・共有化を図る。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員研修を通じた、職員に対する防災の意識づけについて、継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 助けあい組織代表者・事務局合同研修会の開催 ○ 光年部交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員研修を通じた防災の意識づけについて、JA 助けあい組織代表者・事務局合同会議合同研修会を開催し、継続して取り組んだ。 ○ 広島県JA女性組織大会リーダー研修会にて、防災教室「ひろしまJプログラム」を実施し、181名が参加した（R1.7.31） ○ 光年部会にて、手芸教室「防災手拭い」で作るミニバック作成と、防災教室「防災プログラムGカードを通じて、防災意識の醸成を図り、43名が参加した（R1.9.18） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む
備える			<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災グッズの備置（マスクなど）

【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。 ○ 当協会ホームページに「広島県防災 WEB」のバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会において、県の担当職員から「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。 ○ 当協会ホームページに「広島県防災 WEB」のバナーを継続掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

学 ぶ	○ 平成29年度から本部事務局職員のみが参加していた『みんなで減災』一斉地震防災訓練について、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、教材を配付して参加を求める。	○ 令和元年11月5日に実施した。	} 継続して取り組む。
備える	○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定(広島市)』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定(安芸郡府中町)』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定(福山市・福山市自治会連合会)』を基に、引き続き、会員を通じて減災につながる地域の結びつきの強化を行う。	○ 広島市からの依頼により、広島市域を管轄する支部の館員に対し、「町内会・自治会加入促進」のためのチラシを配布し、協力依頼を行った。	

【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進 ○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は会報誌発行が1回だったため掲載できなかった。 ○ 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動ではないが、9/5、9/6の研修会で「水害リスクについて」県担当者に講師を依頼した。 ○ 継続して掲載中 	} 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市の依頼で町内会加入促進のポスターを全会員に送付した。福山市の依頼で町内会加入促進のパンフレットを東部研修会の際に配布した。 ○ マニュアル検討中 	

【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業所周辺の避難場所・避難経路を確認する。 ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をコモンズビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。 ○ 防災機関との連携強化により情報収集を行う。 (各種防災会議等への出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各拠点の避難訓練による避難場所、避難経路の確認を継続(事業所合計7回実施) ○ 台風17号等の災害時、コモンズビューワにより避難所開設情報を収集 ○ 自治体主催の防災会議、中防連の会議や訓練等への出席による情報収集 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練への参画や中国管内全ドコモショップ・ケータイ安全教室などでの防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を実施 ○ 社会福祉会協議会主催のセミナー等でのプレゼンや実機操作体験により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関, 報道等)説明会を実施する。 ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風接近時等に社内災害対策態勢を構築し各組織の災害対策メンバーとの連絡体制を構築 ○ 社外向け説明会の実施。 「地方創生セミナー」 (広島:5月、鳥取:6月、島根:8月) 「記者向け説明会」 (広島:6月、岡山:6月、島根:2月) ○ 防災週間に合わせて、ドコモ防災ハンドブック配布施策(4万6千部)を実施(9月) 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p>

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。 ○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を実施する。 ○ 中国支社グループ社員に対し防災士資格の取得を推進するため、ドコモ大手町ビルでの集合型研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社員を対象とした「シェイクアウト訓練」と「安否確認訓練」を実施（8、12月）。 ○ 全社員を対象とした災害対策に関する WEB 研修を実施（9月） ○ 防災士資格取得に向けた集合型研修を開催 60名参加（1月） 	<p>継続して取り組む。</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。 ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の更なる連携強化に向けて、自治体と協議を実施（21 組織） ○ 陸上自衛隊（12 月）、海上保安庁（2 月）と合同訓練を実施 	<p>継続して取り組む。</p>

【KDDI 株式会社中国総支社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるように、社員向けHPに「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」にリンクを張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のBCPマニュアルの更新・開示継続
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 ○ 上記とは別に地区主導で、社員状況を確認する安否確認メールの実施（上半期1回、下半期1回） ○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」から各自治体HPの情報を収集 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風や大雨などの際、気象台の説明会に参加するなどの気象情報収集や、区市町等地域情報収集を継続し、次の段階の行動に備えている。 	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 ○ 豪雨災害により実災害の対応実施 <ul style="list-style-type: none"> ・被災地支援機器の不足分は、他地域の機器にて補充 ○ 本社主導の防災訓練の様態について、TV会議システムにて、全国の主要拠点を接続し、視聴。発災後にすべき事と問題点を学習 ○ 自治体の総合防災訓練に参加 <ul style="list-style-type: none"> 当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。 ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風による広域災害時、関東・甲信越には通信の復旧要員や、通信サービス継続のための車載型基地局と人員を派遣し、宮城県庁にはリエゾン要員を情報収集・調整のため派遣した。 	<p>継続して取り組む。</p>

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。 ○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B C Pに関する理解向上をEラーニングにて継続している。 技術研究のグループ会社が広島で、最新成果の説明会を実施。 	<p>継続して取り組む。</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。 ○ 各県の総合防災訓練に参加 ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施 ○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施 ○ 災害掲示板（社内用）を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施 ○ 災害マップ（社内用）を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力することで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能なものとした。 <p>・各地で災害発生により運用実施</p>	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一定レベルの維持とさらなる向上のため、各地域管理部門と実践事案を共有し、連携強化を継続している。 ・ 各県の訓練に参加して地域の皆さんの防災意識向上に貢献し、また総務省・国土交通省・陸上自衛隊・海上保安庁等の訓練に他の通信各社と参加し、状況に応じた対応ができるよう研鑽した。 	<p>継続して取り組む。</p>

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の開設の運営に継続 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<p style="text-align: center;">左記の取組を継続中</p>	<p style="text-align: center;">継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板／音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害伝言板／音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<p style="text-align: center;">左記の取組を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<p style="text-align: center;">左記の取組を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対し e ラーニングの受講を促進（全社通達） ○ ホームページ等において、 	<p style="text-align: center;">左記の取組を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">継続して取り組む。</p>

学 ぶ	<p>災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【広島県バス協会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。（ポスター等の提供があれば） ○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メール、広島県防災 Web など情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるように、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災 Web などの情報を会員に対し周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（R1.9.22 予定） ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまバスまつり」は台風17号接近のため中止 ○ 年度内に日程調整し、来年度の早い時期に実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（2020.9.13 予定） ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災 Web など運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促す。 ○ 県からの依頼による、防災フェアの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【広島県医師会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	○ ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施	○ 各医療機関において、可能な範囲でハザードマップやポスター等の提供状況をお願いしている。	○ 継続して取り組む。
察知する	○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発	○ これまでに引き続き、「広島県医師会速報」内で定期的に防災意識・手順・サービス等の啓発を行っている。	○ 継続して取り組む。
行動する	○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方を共有する。 市郡地区医師会 救急・災害医療担当理事連絡協議会 (延期・開催日未定)	○ 広島県医師会 CBRNE 災害対策医療講習会：4/7 開催 危機管理フォーラム 2019：5/19 参加 マシギャザリング災害対策セミナー：7/25 参加 BHELP 研修：8/7 共催 防災推進国民大会 2019：10/19 参加 広島空港航空機事故対応総合訓練：11/1 参加 令和元年度広島県集団災害医療救護訓練：11/3 実施	○ 継続して取り組む。
学ぶ		○ 防災訓練(災害時情報通信訓練)南海トラフ大震災想定訓練：2/5 参加 NBCR 対策推進機構主催各種講習会参加	

【広島県歯科医師会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	○ 全会員に「<新>会員のための災害時ハンドブック」と「パンフレット」を送付し、万一の災害時への準備や対応の周知を図る。 ○ 「会員のための災害時ハンドブック」の中で『自然災害時に備える損害保険～歯科医院継続経営のために～』を掲載。効率的な損害保険の付保について周知を図る。	左記の取組を実施した。	【継続して取り組む】 ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議の際に、「広島県防災 Web」により災害時の準備や対応について啓発を図る。
察知する	○ H31.4.9 現在スーパーメーリングシステムの登録率は全体で 36%、E-mail の登録率は 78%であることから、直接携帯に配信するスーパーメーリングシステムの登録率を上げるべく、新たに「災害に関するお知らせ」専用の配信情報種別を作成・案内し、登録率の向上を図ることを検討する。	○ 継続して実施する。 ・スーパーメーリングシステム登録率の実績 37%、E-mail の登録率は 78%となった。(R2.12.31 現在) ・年度内に「災害に関するお知らせ」専用の配信情報種別(案)を作成案内し、会員の反応・要望を集約する。	【継続して取り組む】 ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在活用中のメーリングシステムに代わるものとして検討していく。

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に郡市地区歯科医師会から災害の状況や支援物資の要請等を把握し、スムーズに連携できるように緊急連絡網やひな形を作成していくことを検討 ○ 上記の連絡網をベースにして、組織図の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に郡市地区歯科医師会とスムーズな連携を図るため、「災害準備登録票」を郡市地区歯科医師会へ発送・集約して、連絡網を構築した。 ○ 上記の連絡網をベースにして、今後組織体制の見直しを行う。 	<p>【継続して取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「<新>会員のための災害時ハンドブック」の中で、歯科医院としての備品チェック表を掲載。また、【大規模災害時の被災会員の行動フロー】により、実際に災害が起こった際のシミュレーションを歯科医院ごとに行えるよう作成。引き続き取り組みの重要性を周知していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配布した「災害時ハンドブック」の中で、“備品チェック表”、“大規模災害時の被災会員の行動フロー”により会員に周知徹底した。 ○ R1.12.14-15、日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」に参加。歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務局で編成したチームでワークショップ実施。実際に災害が起こった際の指示系統の確認等。 	<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な防災グッズと備品等の備蓄 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> H30年7月西日本豪雨災害を踏まえて、必要な防災グッズと備品等の備蓄の見直しを検討する。 </div> ○ 全会員だけではなく、協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）へ「<新>会員のための災害時ハンドブック」と「パンフレット」送付し、広域応援の認識を高める。 ○ 安否確認システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度内に必要な防災グッズや備品等を手配する。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）へ「災害時ハンドブック」と「パンフレット」送付した。 ○ 商品説明会に赴く他に、複数のシステムベンダーの説明を受け検討中 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄の消費期限等考慮し、継続的に見直しをしていく。 ○安否確認システムの構築。 ※「察知する」取り組み内容。 ○協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）との災害対応訓練の実施を検討していく。

【日本放送協会広島放送局】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。5年前の土砂災害とあわせ地域の減災・防災を呼び掛け続ける。 ○ 新たな豪雨、台風、地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。 ○ 訪日外国人の増加を踏まえ、L字放送などで外国人向け放送への誘導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨から1年、1年半などにあわせ特番、定時のニュース、番組で災害の原因の検証、避難の課題、被災地の復興を伝えている。 ○ 豪雨、台風などの際、随時、特設ニュースを実施 ○ 外国人向け放送の充実、誘導を実施 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め、視聴者、県民のみなさんの災害察知力に貢献する。 ○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組を継続 ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット、アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試み。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『NHKニュース防災アプリ』のコンテンツの充実、周知に注力している。 ○ 行政機関との情報共有などの協議を継続し、避難特設ニュースの充実に取り組んでいる。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lアラート由来の避難情報を、対象自治体世帯のテレビに自動表示するシステムの導入
学ぶ・備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施 ○ ライフライン放送やL字放送の訓練を実施予定（6月） ○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。 ○ 職員やスタッフの即応力をより高めるためスマホを活用した中継を定時ニュースにコーナーとして設けた。 ○ 広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設し、防災・減災に役立つ知識や情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施 ○ ライフライン放送、L字放送の訓練を実施 ○ 週に1回、地震に備えた放送訓練を継続 ○ 週に1回、夕方の定時ニュースでスマホを活用した中継を継続 ○ HPに「くらしと安全」を常時開設し、防災・減災に役立つ知識や情報を提供 ○ BCP強化に向けた検討（放送局の水害シミュレーションを実施） 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局太田川河川事務所の水防訓練において放送対応の確認 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度実施の「水害シミュレーション」の結果を元に、水害罹災時の放送継続に向けたフローを整理し、必要に応じて対策を講じる。

【株式会社テレビ新広島】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供 ○ 行政機関や広大等研究機関が取り組む、豪雨災害時の避難行動の在り方の検証について、広く周知できるよう対応（「満点ママ」の月1防災企画などでしっかり情報提供する。） ○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警戒レベル5段階について及び避難のタイミング ・避難経路の確認方法（自宅から避難所までの避難経路を考える上での注意点） ・災害時の連絡手段（公衆電話のかけ方・伝言ダイヤル171などの使い方） ・避難所やマンションに備蓄してあるものを知ること、自分でさらに何を備えたらいいかを考えてもらう。 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知 ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知 ○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供 ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達 ○ テレビ番組で県防災Webによる土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発 ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・警戒レベルの確認、天気予報で細かく今の状況を伝え避難行動を呼び掛ける。 	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化 ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・満点ママオリジナルの災害避難カードを作成⇒家族で避難する場所や避難のタイミングを話し合うきっかけをつくってもらう。 ・番組で避難行動をシュミレーションすることで自分がどう行動するか考えてもらう。 	<p>○ 継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防のため、服の色や帽子の有無でどれくらいの温度が変わってくるのか実験 	<p>継続して取り組む。</p>

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせ、番組などで再度取り上げ注意喚起 <p>気象台や中国地方整備局、各メディアによる勉強会を開催し、どう伝えることで危険度が高まった際に避難誘引できるか検討していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所であると便利なグッズは何か（寝袋） ・大雨の備えについて（事前に何を備えたらいいか、その考え方） ・災害用トイレ（自宅でどれくらい備えたらいいのかなど） ・非常食 ・防災時に役立つビニール袋について ・地震の備えに足元も守るための防災シューズ 	<p>継続して取り組む。</p>
-----	---	--	------------------

【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 ○ 津波の日、減災HPなどの紹介 ○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む。 <p>H29.4 から「みんなで減災推進大使」に就任している気象予報士 塚原美緒さんにより、総ぐるみ運動や、防災HPなどの紹介を行っている。</p>	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月6日には西日本豪雨1年の特番を愛媛・岡山と3局共同で実施。 <p>前日には、every. の全国放送で、小屋浦の被災地から中継した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風、大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達 ○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ・ 8月15日の台風10号では、朝から特番を組んで放送した。 	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発 ○ ニュース番組で、「防災（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。） ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕方の「5up!」を中心に5段階の警戒レベルの周知のほか、防災をテーマにした特集や企画を複数回放送した。 ・7月6日の豪雨災害1年の時期にあわせて、ローカル特別番組を編成。去年の災害から学べることを再確認し、防災について考えてもらうきっかけを作った。 ・8月の台風10号など警戒が必要なタイミングで随時L字放送を実施し、警戒や避難を呼びかけた。 ○ 自社HPの「広島防災」ページについて、災害への備えや、防災関連の自社記事を確認できるように充実させた。 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社HPやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信 ○ 警報など随時ニュース速報で対応 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 土砂災害警戒情報や警報などが出たときは、随時ニュース速報やL字放送で対応した。 ○ 左記の取組を実施した。 	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ・7月22日に全国放送「テレメンタリー2019」で災害1年の広島の現状を伝えた。 ・岡山、愛媛の系列局と豪雨災害1年をテーマにした共同番組を制作し、7月7日に放送した。 ・7月6日のローカル特番や7日の共同特番はネット配信し、見逃した方にも視聴できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害に備える特集・ニュースを放送 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風接近といった必要時には災害に備える特集・ニュースを放送した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【株式会社中国新聞社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催（年1回、9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年9月11日、社員や関連会社員を新聞社内での大会議室に集めて開催。外部講師を招き、意識向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスについて継続実施 ○ 「ちゅーピーメルマガ」を、随時改良を重ねながら、読者に対し、地震や大雨などの災害情報を発信し、素早い避難を促す。 <p>（ ホームページやメルマガなどはもちろん、新聞紙面でも、台風や大雨など被害が予想される場合に、災害から身を守る注意点などを箇条書きした表を付け、事前に注意を促していく。 ）</p>	<p>左記の取組を継続実施</p>	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ さらなる啓発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・今回の西日本災害報道では、これまでの災害を踏まえ、「どう命や地球を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝刊紙面を通じて、ニュースや連載特集などで、災害時の心構えや過去の教訓について報道 （ 「避難の参考書」として地域の避難所への誘導や災害への備え、自主防災、防災マップ作りなどさまざまな視点での報道を続けている。実際の災害で実際に役立つようにアプローチしていきたい ） ○ 西日本豪雨災害を報道した紙面をパネルにし、自治会や公民館など各団体に貸し出し、防災教育などに役立ててもらおう。また「避難の参考書」などの報道を学校の防災教育などに役立ててもらおう。防災シンポなどへ講師として取材記者派遣 	<p>左記の取組を継続実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内の主要拠点において行っている、災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら随時積み増し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。

【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで減災」推進大使（広島エフエム放送 磯貝氏）が各生放送番組に出演して周知（1か月に1回程度出演） ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 ○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ バスマつりが中止となり、推進大使としてのイベントに今年度は参加できなかった。 ○ 番組内で一斉地震防災訓練実施前後で周知を実施した。 	<p>） 継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の周知
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討 ○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生放送で、日本気象協会の担当者に臨時で電話をつなぎ、気象情報を詳しく伝えたほか、土曜日、日曜日の全国ネットのニュース枠を、ローカルニュースに差し替えて自社でニュースを放送した。 ○ 避難情報は、警戒レベルと合わせて市町名のみで放送した。 ○ 防災情報メールの呼びかけは、『みんなで減災』推進大使出演時に行った。 	<p>） 継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加その後、机の下に身を守るスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社で実施をした。また、津波が来ると想定し、局舎屋上へ避難。備蓄品の確認なども行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者（広島経済大学 松井一洋教授）との情報交換を定期的実施 ○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施） ○ 7月に「防災ハンドブック」を発行し、無料配布 〔学びながら防災・減災力をつけてもらうため「ドリル」形式にて制作〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしま防災ドリル」発行に合わせて、担当者と行った。 ○ 防災ワークショップは実施できていないが、防災教室などの周知は、番組内で行った。 ○ 「ひろしま防災ドリル」として7月に7万部を県内で無料配布した。 	<p>） 継続して取り組む。</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起（7月1週目には特集企画を実施予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「備えるフェア」の周知を行った。 ○ 自社制作の生放送各番組で行った。 ・ 7月1週目には、午前中の番組で県危機管理課長や气象台予報官等に出演いただき、特集を実施 9月1日を前に8月最終週には、午後の番組で、「ひろしま防災ドリル」をもとにしたクイズを出題し、特集を行った。 	<p>） 継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起（7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定）

〈課題〉

・ 警戒レベルを含めた避難情報の伝え方について、改めて検討、勉強したい。

【広島地方気象台】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨及び洪水警報の危険度分布を、避難判断の参考として活用してもらうため、住民に対する周知広報を行う。 ○ 大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨及び洪水警報の危険度分布を避難判断の参考として活用してもらうため、気象庁ホームページでの説明の充実、出前講座等（50回、令和元年2月9日現在）により住民に対する周知広報を行った。 ○ 市町等の勉強会（2回、令和元年2月9日現在）や出前講座等で防災担当者や住民対して周知広報を行った。 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受け取る第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。 ○ 避難行動の判断材料となる気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段の周知等について、住民に対する周知広報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関等が参加する防災気象連絡会で、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行った。 ○ 広島県防災会議などで、南海トラフ地震に関連する情報、避難に関する警戒レベルの導入に伴う防災気象情報の位置づけ等について説明した。 ○ 一般・学校等を対象とした出前講座で、防災気象情報の利用について、周知啓発を行った。 	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。 ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台長が6月末までに県内全23市町を訪問、また新たに首長となった市に対して再訪問し「顔の見える関係」の構築並びに連携強化を図ることを目的として、各首長と懇談を行った。 ○ 気象台独自での徒歩参集訓練のほか、大規模地震を想定した訓練を実施し、安否確認や職場の体制確認を行った。また、「『みんなで減災』一斉防災教室」について、6月に実施した気象記念日イベントにおいて周知を行った。 	<p>継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。 ○ 地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。 ○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国・県の大規模氾濫（時の）減災対策協議会や県消防学校の他、地域防災リーダーを対象とした研修会等で防災気象情報の利活用推進に係る普及啓発を行った。 ○ 地方公共団体防災担当者向けの「気象防災ワークショップ」を県と連携し、市町の防災担当者に対して実施した。（2回（15市町参加）令和元年2月9日現在）。 ○ （高等）学校教員を対象とした出前講座等で、気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨そのときどうする？」を行った。（3回、令和元年2月9日現在） 	<p>継続して取り組む。</p>

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う ・ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。 ・ 平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた市町へ協力を依頼し、一部市町と地域の実情に応じた「あなたの町の予報官」の取組みを先行実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雨事例について、防災対応の聞き取りと、注意報・警報を発表するタイミング等について説明を行い、県・市町と振り返りを実施した。 ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化の取組として、台風接近時には、県庁へ職員を派遣し、防災気象情報の解説を行い、防災活動の支援を行った。 ○ 「あなたの町の予報官」の担当地域を決定したが、取り組みは次年度から行う予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う・JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。 ・ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるよう「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。
-----	--	--	--

【中国地方整備局】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等 (広島市を中心に展開予定) ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における防災関連ポータルサイトの提供(関係51機関と情報共有)および橋梁・堤防等の「リスクの見える化」に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ○ R1.05.11 防災イベント (イオン広島祇園) R1.05.31 土砂災害防止県民の集い(東広島芸術文化ホール) R1.08.03 防災イベント (マツダスタジアム) R1.09.07 防災イベント (安佐動物公園) ほか R1.11.10 防災イベント (ソレイユ府中) R2.1.5 防災イベント (広島市出初め式) R2.3.14~15 防災イベント (呉ポートピアパーク) ○中国地方の防災に関する連絡会において、以下の取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに会員を1機関追加(構成機関51→52機関) ・ 防災関連ポータルサイトは常時提供中。 ・ リスクの見える化については、堤防等の関係機関の資料を整理し、関係機関で共有。 ・ 大規模災害時における関係機関の支援メニューについて、支援内容、支援上必要な情報、関係機関で共有するとともに、県を通じて中国地方の市町村へ配付予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等(広島市を中心に展開予定) ・ 土砂災害防止県民の集い(尾道市)に参加予定 ・ ぼうさいこくたい2020@HIROSHIMAに参加予定 ○ 継続して取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中国地方の防災に関する連絡会」における防災関連ポータルサイトの提供(関係52機関と情報共有)

<p>察知する</p>	<p>【道路】 道路情報提供(交通規制, 道路気象情報), 事前通行規制区間情報, 冬季道路情報(道路ライブ画像, 通行止め予定区間)</p> <p>【港湾】 ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)</p> <p>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施</p> <p>○ 危機管理型水位計による情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し, 住民の主体的な避難を促進 <p>○ 平成 30 年 7 月豪雨で土石流被害を受けた地区でのワイヤーセンサー設置による警戒</p> <p>○ 防災情報 WEB サイトのリニューアルを実施</p>	<p>・ その他の防災情報の提供については継続実施中。</p> <p>○ 実施中であるが, R1 年度は実績はなし。</p> <p>○ 5/30 までに芦田川 26 箇所、江の川(上流) 64 箇所、太田川 92 箇所、小瀬川 15 箇所、合計 197 箇所に危機管理水位計を設置し、情報提供を開始。</p> <p>○ H30. 11. 9 までにワイヤーセンサーを 14 箇所において設置しており、継続実施中。</p> <p>○ 防災情報 WEB サイトのリニューアルを実施。 (平成 31 年 4 月 1 日)</p>	<p>継続して取り組む。</p>
<p>行動する</p>	<p>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練</p> <p>○ 多機関連携型タイムラインの策定 (芦田川, 江の川, 小瀬川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政・交通・ライフライン・マスメディア等からなる検討会を設置予定 	<p>○ H30. 7 豪雨課題検討専門部会・連携訓練専門部会・南海トラフ巨大地震対策計画専門部会(10/29、1/30)、中国地方の防災に関する連絡会(2/13)を開催し、関係機関の取り組みについて意見交換・情報共有を実施。また、大規模災害対応連携訓練(1/17)を実施し、関係機関の連携手順を確認し、関係機関の連携協力を強化。</p> <p>○ 芦田川(8/26)、江の川(8/30)に策定済み。小瀬川は 11 月 11 日に検討会を発足し、令和 2 年 2 月 6 日に日第 3 回検討会を開催しており、年度内を目標に策定予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民一人一人がいざという時のための避難行動を考えるマイ・タイムラインの作成支援を実施(芦田川)。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>○ 他機関連携型タイムラインの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小瀬川は 4/1 に太田川河川事務所 HP に掲載した。 ・ 各河川において運用を行い、出水後に運用実績に基づき振り返りを行い、課題があれば改善し、必要に応じて改定する。

<p>行動する</p>	<p>○ 要配慮者利用施設について「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援</p>	<p>○ 三次市と調整中。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>
<p>学 ぶ</p>	<p>○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等 (広島市を中心に展開予定)</p> <p>○ 防災・河川環境教育の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場と連携・協力し、防災教育の支援及び河川環境学習の支援を実施(整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供, 気象台・地理院とも連携した取組を実施) (芦田川における指導計画(案)等を作成し, 情報提供予定) <p>○ 7月豪雨関連の記録誌のHPへの掲載</p>	<p>○ R1.05.11 防災イベント (イオン広島祇園)</p> <p>R1.05.31 土砂災害防止県民の集い(東広島芸術文化ホール)</p> <p>R1.08.03 防災イベント (マツダスタジアム)</p> <p>R1.09.07 防災イベント (安佐動物公園) ほか</p> <p>R1.11.10 防災イベント (ソレイユ府中)</p> <p>R2.1.5 防災イベント (広島市出初め式)</p> <p>R2.3.14~15 防災イベント (呉ポートピアパーク)</p> <p>○ 芦田川における防災教育における指導計画(案)等を作成し, 第5回芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(5/29開催)にて情報提供を実施。</p> <p>○ 中国地方整備局のHPにて掲載中</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>

【広島県市長会（広島市）】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により以下の内容を広報する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に関する一般知識 ・ 災害に対する平素からの備え ・ 防災情報の意味 ・ 防災情報を入力した際の安全確保行動等 ○ <u>既存の防災普及啓発冊子を更新し、「たちまち防災」として発行予定。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市HPや、市政出前講座、講演会・研修会、各種イベント等により、災害に関する一般知識や、平素からの備えを周知した。 ○ 広島市防災普及啓発冊子「たちまち防災」を発行。今後、講演会や防災訓練で配布するほか、たちまち防災を活用した地域防災リーダーによる研修等を実施予定。 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難勧告等の伝達 ○ 避難情報の入手方法の周知 <u>緊急速報メールの活用の周知</u> ○ 広島市防災情報メールの登録促進 <u>配信システムを更新し、小学校区単位で配信先を選択できるよう改修予定</u> ○ <u>防災受信機の利用促進</u> ○ <u>Webカメラの設置補助</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市防災情報メールの機能を拡充した。（区単位での配信から小学校区単位で配信に改修）これにより、不要なメールが届く頻度が減り、避難情報の効果的な伝達が可能となった。 ○ 防災受信機や防災ライブカメラの設置補助制度を設け、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリの周知
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 ○ 現在地の危険度の確認や、その場所から適切な指定緊急避難場所等へ誘導するための避難誘導アプリの開発（令和2年4月運用開始予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度を設け、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。 ○ 現在地の危険度の確認や、その場所から適切な避難場所等へ誘導するための避難誘導アプリを開発中（令和2年4月運用開始予定） 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリの周知
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月2日に防災シンポジウムを実施し、近年の災害や気象に関する講演や、市内で活動が活発な団体の活動紹介を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 ○ 災害を追体験できる取組の推進 ○ こどもを対象とした防災体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ その他、各区や地域で防災に関する研修会や出前講座を実施した。その他、自主防災組織と連携し、夏休み期間中に避難所となる体育館等を利用した防災体験学習「防災キャンプ」を開催した。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自主防災会長をサポートし、防災面でリーダーシップの取れる広島市地域防災リーダーの養成を実施。 ○ 各種防災イベントにおいて非常持ち出し品の必要性や見本等を示し、日頃からの備えを啓発した。 	<p>継続して取り組む。</p>

【広島県町村会（坂町）】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」, 「土砂災害ハザードマップ」を転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 <p>（土砂災害ハザードマップについては町内全地区の警戒区域指定が終了予定であるため、新たに作成する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内全域の土砂災害ハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 予定通り令和元年度中に土砂災害ハザードマップを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度作成の町内全域土砂災害ハザードマップの配布・広報誌やHPでの周知

<p>察知する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ○ エリアメールによる、災害情報の周知 (NTT ドコモ, KDDI, ソフトバンク) ○ 戸別受信機の無償貸与を開始し、避難情報をより確実に伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 楽天モバイルがエリアメールサービスを開始することに伴い新たに配信キャリアの追加を実施 ○ 貸与した戸別受信機に対して難聴世帯に個別アンテナ設置・役場庁舎設置アンテナの増設を行い、避難情報をより確実に伝達できるように実施している。 	<p>継続して取り組む</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団における登録者数増強（令和元年度は副分団長以上の登録）
<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団の主要な連絡手である移動系無線機についてデジタル更新・配備数の増強を行う。
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催・防災士養成講座の受講 ○ 防災士養成講座受講者の募集 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災会養成講座開催
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。公共施設において非常持出品の展示し啓発実施 ○ 町広報誌においても備蓄の呼びかけ 	<p>左記の取組を実施中した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最低限の備蓄物資（飲料水・毛布・食料）について分散備蓄を行った。 	<p>継続して取り組む</p>

【広島県教育委員会】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認 訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導 → 平成31年度健康教育行政係担当者連絡協議会において、市町の担当者に取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度健康教育行政係担当者連絡協議会において、市町の担当者に取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼した。 ○ 令和元年度学校安全指導者講習会において、県砂防課、減災対策推進担当、広島地方気象台からハザードマップ、気象情報等の最新情報を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 → 平成31年度健康教育行政係担当者連絡協議会において、市町の担当者に取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼 ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 → 前年度末に、一斉防災訓練の年間の予定を周知し、計画的に一斉防災訓練に参加できるように促した。 ○ 文部科学省作成の『『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育(改訂版)』及び「学校の危機管理マニュアル作成の手引」を参考に危機管理マニュアルの作成・見直しを図るよう周知するとともに、豪雨災害後に、通学路の危険箇所を確認すること、危機管理マニュアルの見直しを実施するよう周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度健康教育行政係担当者連絡協議会において、市町の担当者に取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 令和元年度学校安全指導者講習会において、『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育(改訂版)』及び「学校の危機管理マニュアル作成の手引」を参考に危機管理マニュアルの作成・見直しの現状を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 → 平成31年度健康教育行政係担当者連絡協議会において、市町の担当者に取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県消防保安課が作成した「自主防災組織と小学校・中学校との連携による活動事例」を周知し、自主防災組織と連携した防災活動の取組の推進を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

<p style="text-align: center;">学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 <ul style="list-style-type: none"> → 地域の危険箇所の確認及び地域の災害碑等をめぐるなどして、防災マップの作成・活用を依頼 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「防災教育の手引[別冊]」を作成し、実践事例等を活用した「防災に関する授業」の推進 ・ 早期に防災教育を推進するための教職員研修を実施（防災教育を推進する教職員への研修が充実するよう研修内容を検討） ・ 学校安全担当者を対象としたHUGやDIG, 目黒メソッド等を活用した図上訓練や担架搬送体験の実施 ・ 共通の教材を活用しての、災害危険箇所、避難場所、避難経路等について、全学校及び家庭における確認 ・ 専門機関等（国交省、広島地方気象台等）と連携した防災教育等の推進 ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県自然災害に関する防災教育の手引〔別冊〕を作成し、災害碑をめぐるフィールドワークの実践を紹介した。 ○ 広島県自然災害に関する防災教育の手引〔別冊〕を作成し、災害碑をめぐるフィールドワークの実践等の防災教育実践事例の活用を促した。 ○ 6月に令和元年度学校安全指導者講習会を開催し、学校安全担当者を対象にHUGを実施するとともに、広島地方気象台等の専門家を招聘して、最新情報を提供し、防災教育の充実を図った。 ○ 公民館等が地域の防災に関する啓発活動等を行うに当たり、土砂災害防止に係る啓発・伝承パネル等の教材情報を提供した。その結果、県砂防課から10館に教材の貸出しが行われた。 	<p style="text-align: center;">継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 <p>○ 継続して取り組む。</p>
--	---	---	--

【広島県】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組の実施状況	令和2年度の取組内容等
<p>知る</p>	<p>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施（5/13～6/6） ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施 ・ 防災教室、広報誌、広報番組、イベント等において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一歩」などの利用促進 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ ・ 中小事業者等に対する事業継続計画（BCP）の策定支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 目的 災害等の緊急時に強靱かつ柔軟な事業活動ができる環境の整備</p> <p>2 実施予定 (1)事業継続計画(BCP)の策定指針やマニュアル等の作成 (2)事業継続計画(BCP)策定講座等の開催 (3)事業継続計画(BCP)策定推進フォーラムの開催</p> </div>	<p>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施（5/13～6/6） → 参加者約 63 万 1 千人 ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報を実施した。 ・ 防災教室、広報誌、広報番組、イベント等において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一歩」などの利用を促進した。 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け → 「安佐南防災フェス(5/11)」, 「防災ひろば in マツダスタジアム(8/3)」, 「無印良品『いつものものものの防災教室』(9/15)」, 「ひろしま空の日ふれあい秋まつり(10/20)」 ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ（51 社、計 249 社[H28～]） ・ 県内の中小企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ〔商工労働局と連携〕（1,527 社） ・ 中小事業者等に対する事業継続計画（BCP）の策定支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【BCP 普及フォーラム】 ～ BCP の目的・意義等の必要性を訴え、その普及促進を図る。 ・ 7/24 福山 ・ 9/19 広島 ・ 11/21 福山 ・ 12/19 三次</p> <p>【BCP 策定講座】 ～ 1 日で完結する「使える BCP」策定講座 ・ 6/17～20 広島 ・ 8/20～23 福山 ・ 10/21・23～25 広島 ・ 12/2～4・6 福山 ・ 1/23～24 三次</p> <p>【BCP 検証机上演習】 ～ BCP 策定講座で策定した BCP の有効性を確認する講座 ・ 8/19 広島 ・ 9/20 福山 ・ 11/22 広島 ・ 12/20 福山 ・ 2/21 三次 ・ その他個別セミナー 9回</p> </div>	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問した企業に対し、引き続き、「知る」取組が進むよう、要望に応じて必要な支援を行う。 ・ 継続して取り組む。（令和2年度、拡充実施） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. BCP の策定 回数を拡充し、県内中小事業者等に対して、BCP の必要性や危機管理体制の整備を訴える「BCP 策定・BCM 活動推進フォーラム・セミナー」の開催、BCP を策定するための「BCP 策定講座」の開催及び、BCP の効果検証等を試みる「机上演習」を実施する。</p> <p>2. 映像媒体による周知活動 フォーラム・セミナーへの参加誘導としての映像の配信や、BCM 活動の推進としての社内教育・研修用教材の提供等を行う。</p> <p>3. 共助体制の構築 BCP の実効性をさらに高めるために、BCP 策定講座等参加事業者間で、共助体制の推進を進めていくための研究や、情報交換を行える場を提供する。</p> </div>

<p>知 る</p>	<p>○ 土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査の実施等</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の指定住民への説明会の開催等</p> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p>	<p>1. 広島県版マニュアルの策定 BCP策定講座において、企業が独自のBCPの策定及びBCPの活動に取り組むための、策定・活動の指針や広島県独自のマニュアルを作成し、県内での周知活動に活用した。 【成果物】 ■事業継続計画書 ■初動・復旧対応手順書 ■事務局運営手順書 ■事業継続ガイドライン</p> <p>2. 参加事業者数 ■フォーラム参加企業数 218社 ■策定講座参加企業数 163社 ■机上演習参加企業数 50社</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査の実施等 ・「基礎調査実施計画」に基づく土砂災害警戒区域等の指定が完了した。 ・ヤフー(株)と連携した「防災マップ」の共同開発、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催、高齢者を対象としたポスターやパンフレット等の作成・配置など、避難につながる取組を推進した。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の指定住民への説明会の開催等 ・95小学校区の住民説明会を開催 ・また、説明会の開催案内にあたり、説明会で使用する土砂災害警戒区域等位置図に避難場所等を併せて掲載したハザードマップを対象地域の全戸に配布した。</p> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知 〔防災重点ため池についての令和元年度に作成した浸水想定区域図を追加公開した。〕</p> <p>○ 山地災害危険地区情報の周知 〔県ホームページ上で「山地災害危険地区情報」の公開に向けてシステム構築を実施した。また、市町にも電子データを情報提供することにより、地域防災計画等に活用できるようにした。〕</p>	<p>○ 「ぼうさいこくたい 2020」開催に伴う、広島市と連携した「知る」取組の推進(10/3~4)</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組 ・新たに「土砂災害警戒区域等を示した標識」を設置し、土砂災害警戒区域等の更なる認知度を図る。 ・引き続き、「呼びかけ避難」のポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、指定効果を高める取組を継続する。</p> <p>○ 継続して取り組む。 〔引き続きデータの整理を行い、マップ上で公表するため池を順次拡大する。〕</p> <p>○ 継続して取り組む。 〔年度当初から県ホームページ上で、「山地災害危険地区情報」を公開するとともに、市町に同様のデータを情報提供することにより、地域防災計画等に活用してもらう。〕</p>
------------	--	--	---

<p>知 　　る</p>	<p>○ 5段階警戒レベルの防災情報の提供についての周知</p>	<p>○ 5段階警戒レベルの防災情報の提供についての周知 → 国の「避難勧告等に関するガイドライン」の改定により、導入されることとなった5段階警戒レベルの防災情報の提供について、出水期までに県民に浸透させるため、テレビ・ラジオを活用した広報のほか、市町へのチラシの配布など、集中的な啓発の取組を行った。</p>	<p>○ 継続して取り組む。 年度当初から県ホームページ上で、「山地災害危険地区情報」を公開するとともに、市町に同様のデータを情報提供することにより、地域防災計画等に活用してもらう。 ○ 継続して取り組む。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」 ・「ひろしまマイ・タイムライン」を制作し、全小学校に配布して、作成を促す。 ・また、自主防災組織等へ配布し、地域の防災教室等で活用を促す。 ・デジタル版の制作 ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</p>
<p>察知する</p>	<p>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ ・県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ</p>	<p>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報を実施した。 ・県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 → 「安佐南防災フェス(5/11)」, 「防災ひろば in マツダスタジアム(8/3)」, 「無印良品『いつものもしも防災教室(9/15)』」, 「ひろしま空の日ふれあい秋まつり(10/20)」〔再掲〕 ・県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけを行った。 ・県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけを行った。〔再掲〕 ・ヤフー(株)と連携した「防災マップ」の共同開発、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催、高齢者を対象としたポスターやパンフレット等の作成・配置など、避難につながる取組を推進した。〔再掲〕</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>

<p>察知する</p>		<p>○ 「避難行動を促進する可能性のあるメッセージ」の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月に実施した県民意識調査の結果において、避難行動を促進する可能性の高いメッセージが分かったことから、市町や報道機関のほか、全国知事会を通じて、他の都道府県にその活用をお願いした。 	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進</p>
<p>行動する</p>	<p>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・ 「一斉防災教室」の実施（5/13～6/6） ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ〔再掲〕 ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉地震防災訓練」の実施（11/1） 	<p>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施した。〔再掲〕 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 → 「安佐南防災フェス(5/11)」, 「防災ひろば in マツダスタジアム(8/3)」, 「無印良品『いつもものもしも防災教室(9/15)』」, 「ひろしま空の日ふれあい秋まつり(10/20)」〔再掲〕 ・ 「一斉防災教室」の実施（5/13～6/6） → 参加者約63万1千人〔再掲〕 ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ〔再掲〕 ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉地震防災訓練」の実施（11/1） → 参加者約54万人 ・ 「行動事例集『わたしたちは、なぜうまく避難できないのだろう』」の作成・配布 ～ 県民の避難行動に繋げることを目的に、平成30年7月豪雨災害に関する避難行動の面接調査から得た証言をもとに行動事例集を作成 自主防災組織等へ配布し、地域の防災教室での活用を図った。 	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進</p>

<p style="text-align: center;">学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 (5/13~6/6) ○ 女性が参画する団体・サークル等を対象にした、防災活動の女性リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「女性のための防災プログラムトレーナー講座」を開催 ○ 高齢者サロン等の多世代が集う場における防災教室の実践促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいサロン防災プログラムトレーナー養成講座を開催 ○ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知 ○ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 ○ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 ○ 事業者向けセミナーにおいて、企業や事業所における防災に関する取組事例などの学習 [再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 (5/13~6/6) <ul style="list-style-type: none"> → 参加者約 63 万 1 千人 [再掲] ○ 女性が参画する団体・サークル等を対象にした、防災活動の女性リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「女性のための防災プログラムトレーナー講座」を開催 <ul style="list-style-type: none"> → 6/15 広島:31 名, 6/18: 廿日市 17 名, 6/20 三次:23 名, 6/25 海田:29 名, 6/27 福山:29 名, 7/4 呉:32 名 ○ 高齢者サロン等の多世代が集う場における防災教室の実践促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいサロン防災プログラムトレーナー養成講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> → 9/4 広島:53 名 9/6 世羅:20 名 ○ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知を行った。[再掲] ○ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> → 「安佐南防災フェス(5/11)」, 「防災ひろば in マツダスタジアム(8/3)」, 「無印良品『いつものもしも防災教室(9/15)』」, 「ひろしま空の日ふれあい秋まつり(10/20)」 [再掲] ○ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> → 「安佐南防災フェス(5/11)」, 「福山ばら祭(5/18)」, 「防災ひろば in マツダスタジアム(8/3)」, 「防災イベント in 安佐動物園(9/7)」, 「ひろしまトラックまつり(10/13)」, 「ひろしま空の日ふれあい秋まつり(10/20)」, 「南区安全・安心なまちづくりフェスティバル(11/4)」, 「ふちゅう防災王国 2019(11/10)」, 「広島市消防出初式(1/5)」 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p>
--	---	---	--

<p style="text-align: center;">学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業への訪問の一環として、訪問先からの要請に応じて、社内研修等の講師として職員を派遣 ○ 「土砂災害防止県民の集い」の開催 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載（地域の砂防情報アーカイブ、広島県の砂防資料館等） ○ 県内の小中学校に職員を派遣し、「砂防出前講座」を実施 ○ 近年多発する山地災害や防災対策への理解を深めるとともに、防災に対する関心を高めていただくため、学生対象の出前講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業への訪問の一環として、訪問先からの要請に応じて、社内研修等の講師として職員を派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/25 広島県テント工業組合 ・ 7/5 アステラス製薬(株) ・ 7/11 損保ジャパン(株) ・ 7/17 (株)マツダ ・ 7/31 J A ・ 9/5, 9/26 広島県臨床検査技師会 ○ 「土砂災害防止県民の集い」の開催状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月31日に東広島芸術文化ホール くららで開催し約450人が参加した。 ○ 提供された過去の災害写真や体験談等は、運営会議による審査を経て、「地域の砂防情報アーカイブ」に、新たに155点を追加 ○ 県内の小中学校に職員を派遣し、「砂防出前講座」を実施 → 小中学校 39校 ○ 災害復旧事業の執行に注力し、出前講座の開催には至らなかった。 ○ 「行動事例集『わたしたちは、なぜうまく避難できないのだろう』」の作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> ～ 県民の避難行動に繋げることを目的に、平成30年7月豪雨災害に関する避難行動の面接調査から得た証言をもとに、行動事例集を作成自主防災組織等へ配布し、地域の防災教室での活用を図った。〔再掲〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年6月1日に尾道市で開催 ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む。 ○ 事業実施時の事業説明の対象者を幅広くし、防災に対する関心を高めるとともに、防災対策への理解を深めていただく。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進 ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施〔再掲〕
--	---	---	---

<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知 ○ 「みんなで減災」備えるフェアの開催 ○ 防災リーダーの養成及び自主防災組織の育成強化 （自主防災組織の設立や活発化の支援及び自主防災アドバイザーの育成・派遣） ○ 自主防災組織による避難の呼びかけの体制づくり支援を実施し、自主防災組織の機能強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知した ○ 「みんなで減災」備えるフェアの開催 → ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/31～9/16 40社, 2,352店舗参加 上記各期間中、「みんなで減災」推進大使による「親子で学べる防災教室」などを開催 ・ 2/29～3/15 42社, 2,391店舗参加 上記各期間中、「みんなで減災」推進大使による「親子で学べる防災教室」などを開催 ○ 防災リーダーの養成及び自主防災組織の育成強化 （自主防災組織の設立や活発化の支援及び自主防災アドバイザーの育成・派遣） → ・ 自主防災組織の設立促進や活性化を図るため、機運が高まらない地区や活性化していない組織へ派遣し、継続的に指導助言した。 ・ また、自主防災アドバイザーの指導力の維持・向上を図るため、「スキルアップ研修」を実施した。 ・ アドバイザー登録者数：218名 ○ 県内の22組織で、市町、自主防災アドバイザーと連携し、自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくり支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進
------------	--	--	--